

おきあき
石田 冲秋先生（元俳星主幹）略歴

昭和20年横手市増田町生まれ。秋田市保戸野住。

昭和54年より「俳星」に入会。

平成11年より「俳星」の編集を担当。

平成22年に第10代主幹に就任し、平成27年6月号（通巻第1140号）まで務める。

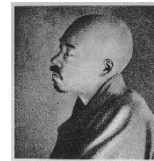
平成27年秋田市文化賞受賞。

編著に「北海道・東北ふるさと大歳時記」「俳文学大辞典」（共に角川書店・分担執筆）「石井露月日記」「石井露月目で見える生涯」（共に編集分担執筆）など。

俳人協会会員。菅江真澄研究会副会長。



島田五空



正岡子規

* 今回講演『島田五空と俳句革新』について

港町能代は、進取の気象に富んだ土地柄ゆえに多くの先覚者を育んだ。そうした中の一人、島田五空（豊三郎）は若くして印刷業を創業、「能代商報」（後の「北羽新報」）、正岡子規命名賛助による俳誌「俳星」を創刊した。また、県議会議員や郡立山本図書館長を務めたほか、俳句はもとより弓道、囲碁、将棋を嗜むなど様々な分野で活躍した偉大な先覚者であった。

工藤 修一先生（無人航空従事者1級資格者）略歴

昭和32年6月生まれ 能代市柳町在住

昭和51年3月 能代市立商業高等学校卒業

昭和51年4月 能代信用金庫入社

秋田ふれあい信用金庫→羽後信用金庫と合併により社名変更

平成29年6月 定年退職

平成29年12月 ヘアサロン「ラメール」経理マネージャーとして勤務

平成29年12月 ドローン基礎実技資格取得

平成30年1月 ドローン学科1級資格（無人航空従事者1級資格）取得

能代南ロータリークラブ会員



* 今回講演『最新のドローン事情』について

興味を持つことで脳のパフォーマンスはぐんと上がります。何に対しても「きっと面白いだろうな」と積極的に取り組みます。

25年前に出始めのパソコンに興味持ちましたし、ラジコンもやっていました。シニアになっても新しいもの好きでドローンの進化に興味を持ち、ついにはドローンの1級資格も取りました。最新のドローン情報をみなさんに提供します。



ドローン空撮風景写真



ドローン空撮風景写真